

期日 2021.10.5日(火)

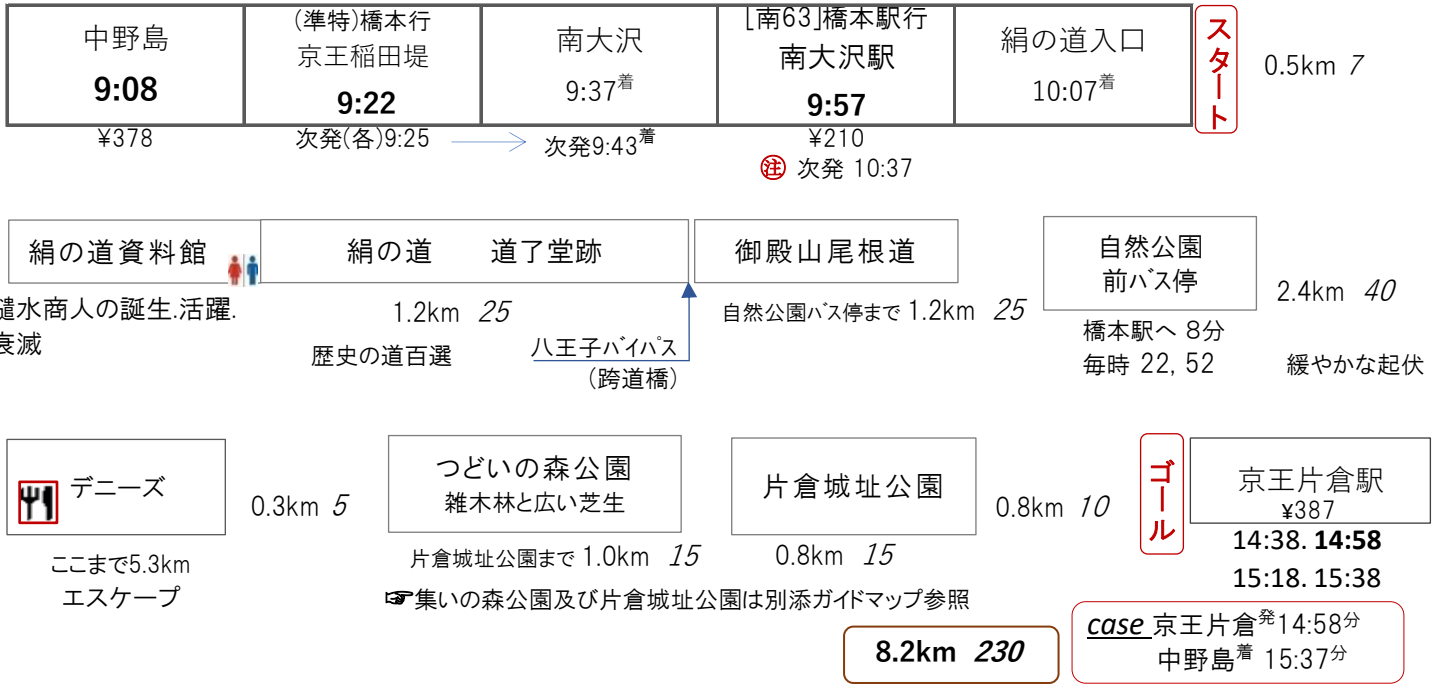
斜数字 休憩等を含まない実歩行時間

集合 中野島駅 9:03

km 坂階段を考慮しない地図上の水平距離

昼食 デニース

m 地点概算標高(5m単位でマップに表記)



コース概要 明治の文明開化を支えた絹の道から御殿山尾根道～集の森公園・片倉城址公園へ歴史と緑散歩です。緩やかな起伏がある散歩道です。全長8.2kmですが途中2カ所でエスケープ地があります。ウォーキング靴で参加ください

エスケープ ①3.2km地点の自然公園前バス停、②5.3km地点の食事処デニースからJR八王子みなみ野駅

昼食 デニースを予定しています

鐘水商人 八王子は関東周辺の生糸の集積地であったことから「江戸鐘水」と呼ばれ、横浜開港前から栄え、鐘水地区の商人は仲買として利益をあげていました。開港するとそれまでの経験を活かして富を増やし、多くの豪商が生まれました。しかし、養蚕の機械化と大問屋の出現、横浜線の開通と共に活躍の場を失い没落していきました

絹の道(浜街道) 幕末の横浜開港の日本の輸出の中心であった生糸は上州・甲州・信州から八王子に集められ、人馬の背によって横浜に運ばれました。その輸送路は浜街道と呼ばれ、日本の文明を支える動脈でした。この道は地元の史家により「絹の道」と名付けられ「歴史の道百選」に選定されて保全されています

絹の道資料館 鐘水商人八木下要右衛門の屋敷跡に建てられています。馬の背で相模川から運ばれたといわれる見事な石垣はそのままに、建物等は当時の雰囲気伝えるように工夫されています。館内は「鐘水商人がどのような背景で生れ、どのような活躍をし、どのようにその場を失っていったか」を紹介してあります(入館無料)

道了堂跡 鐘水商人が浅草から道了尊を勧請したことが始まりで、一時期大いに栄えたが、絹の道と共に衰退していき、その後、堂守殺害事件、立教大学教授の教え子殺害事件、稲川淳二の首なし地蔵モデル地が重なって、心霊スポットとしても知られています

御殿山尾根道 遣水峠～御殿峠は市民活動に行政が支援を行なうアドプト制度に登録され、ボランティア活動で歩きやすい尾根道として整備されています。御殿峠取付の危険箇所を避けて途中からホーム敷地内に下りますのでご注意ください

つどいの森公園 災害時の物資供給の拠点として整備された19haの防災公園です。このため、遊具等の施設はなく、広い芝生の広場と樹林地の緑と開放感を味わう空間です

片倉城址公園 現存する城跡の遺構は歴史的には殆ど不明といわれ、本丸・二の丸・空堀・土塁の名残は15C後半の形態を示す典型的なものとして都の史跡に指定されています。城跡と周辺の環境保全を目的とした公園として管理されています



絹の道



資料館(八木下要右衛門屋敷跡)



御殿山尾根道



集の森公園

集の森公園ガイドマップ



片倉城址公園ガイドマップ

